

Topics あの議論は どうなった？

病後児保育

病後児保育とは、病気やけがで集団保育が困難であり、保護者または家族が保育を行うことができない場合に、施設で看護師と保育士が一時的に預かる事業です。

平成15年9月議会（合併前）で議員から計画についての質問に、執行部は、放課後児童健全育成事業（学童保育）や病後の保育事業、一次保育事業なども含む市町村行動計画（平成17年度から5カ年計画）を策定することになっていると答弁しています。

平成17年の6月議会で議員から病後児保育の検討状況はとの質問に、市長は「病後の回復期のお子さんのあり方につきましては、十分意を払いたいと思っております」と答弁し、その後学童保育は市内全域に拡大しましたが、病後児保育は未実施でした。

平成26年の6月議会と12月議会で議員から開設を求める意見が出され、平成28年度になって予算計上されました。

そして平成29年4月、成羽病院に近い、旧成羽ビジョン局舎の施設内に市直営で開設されました。

吉岡銅山

今回の表紙は吉岡銅山の今昔です。現地の視察や撮影、西江邸を訪問し、お話を聞かせていただきました。お話では、日本三大銅山の別子、足尾、そして吉岡銅山の産業遺産を一つの世界遺産にという運動も進められており、行政や議会の後押しや、地域の協力など得ながら進めていきたいとのことでした。

6月議会では、吉岡銅山を国指定の史跡として目指すこととして、吉岡銅山関連遺跡調査委員会関係の議案が全会一致で可決しました。



吹屋出身の故 田村雄一京都大学教授が、生家周辺や町の文化遺産を数十枚描かれたスケッチより

編集後記

5月発行の「高梁市議会だより」から表紙が時事ネタに変わりました。皆さんに親しみやすい・分かりやすい議会広報の発行をと、内容を含め、議会広報公聴特別委員会で苦心しているところです。

また本委員会の役割には「議会報告会」もあります。年2回各地域を巡回し開催していますが、皆さんが参加したくなるような工夫がいっそう必要と、他自治体の議会報告会の視察なども行ったところです。市民の皆さんと一体感をもって議会を作り、今後の高梁市を考えていくためにも、皆さんのご意見やご要望をお寄せください。

(石部 誠)

編集

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報公聴特別委員会
伊藤泰樹	森和之	森上昌生	石井聡美	石部 誠	石田芳生	宮田好夫	